MITSUBISHI

お客さま用

三菱クリーンヒーターエアコン
〈冷房装置付密閉式石油ストーブ〉

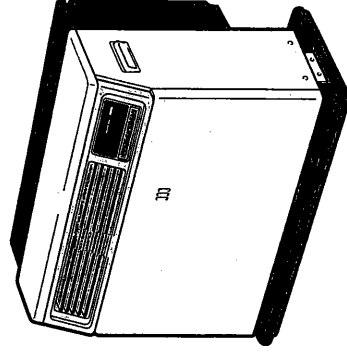
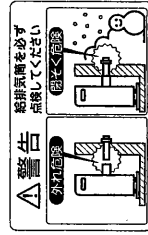
形名
VKC-423H
VKC-523H

取扱説明書

この取扱説明書をよくお読みになり正しくお使いください。
とくに「安全のために必ず守ること」をご使用前に必ず読んで安全にお使いください。

この説明書はお読みになった後、お使いになるかたがいつでも見られるところに同梱の保証書と共に保存のうえ、ご使用中にわからないことや不具合が生じたとき、お役立てください。
保証書は必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入を確かめて、販売店からお受け取りください。
この製品は給排気工事を必要としますので、**据付工事をお客さまご自身がしないでください。**
(安全や機能の確保ができません)

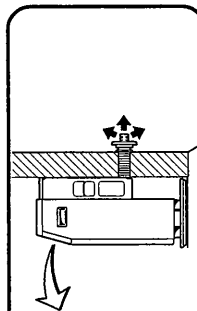
三菱クリーンヒーターエアコンを廃棄処分される場合は、本体内の灯油を抜きとってから行ってください。

9808R870HK7202

主な特長

クリーンヒーターエアコンは年間を通して快適に過ごしていただくため、次のような特長をそろえました。

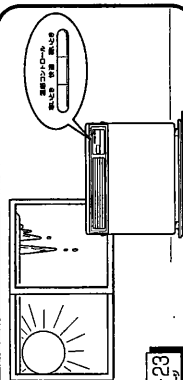
人にやさしいFF〔強制給排気〕式

FF式暖房機だから

外の空気を使って燃焼し、排気ガスを外へ出すからお部屋の空気を汚しません。
換気のために窓を開けなくてもいい。

室温調節も簡単

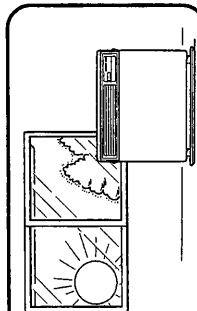
(温感コントロール)

「寒い」「暑い」など人それぞれの感覚に合わせてお部屋の温度を自動的にコントロールします。

17·23 ページ

おめざめの時刻にお部屋が暖かい

(おはようタイマー運転)

デジタル式24時間タイマーです。暖房時ご希望の時刻に部屋が暖まっているよう自動的に点火します。

19 ページ

おやすみ後に運転をとめたい

(おやすみタイマー運転)

デジタル式24時間タイマーで、ご希望の時刻に自動的に運転を停止します。

20 ページ

もくじ

次のようなマークで必要な情報を示しています。

[お願い] 正しく使っていただくための情報です。

より便利にご使用いただくための情報です。

ミニ情報 細部の機能説明です。

参照ページを示します。

安全のために必ず守ること

■誤った取扱いをしたときに生じる危険とその程度を、つぎの表示で区分して説明しています。

表示	意味
⚠危険	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う危険が切迫して生じることが想定される場合
⚠警告	取扱いを誤った場合、使用者が死亡又は重傷を負う可能性が想定される場合
⚠注意	取扱いを誤った場合、使用者が傷害を負う危険が想定される場合及び物的損害のみの発生が想定される場合

■表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

- ガソリン使用禁止
- 禁止を表わす
- 分解禁止
- 指示に従い必ず行う
- 電源プラグをコンセントから抜く

⚠危険

屋内給排気禁止

お客さまご自身では据付工事をしない。
(異常燃焼し、一酸化炭素中毒の原因になります)

禁止

⚠警告

ガソリン厳禁

ガソリンなど揮発性の高い油は使わない。
(火災の原因になります)

使用禁止

スプレー缶接近厳禁

(爆発の原因になります)

接近厳禁

温風吹出口をふさがない

衣類・紙などで温風吹出口、空気取入口をふさがない。
(火災の原因になります)

禁止

給排気筒トップ閉そく危険

積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪をしてください。
(排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります)

確認

はずれ危険

給排気筒（管・ホース）が正しく接続されているか点検してください。
(はずれていると運転中に排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります)

点検

⚠警告

冷風を長時間、直接身体にあてない

(体質悪化・健康障害の原因になります)

禁止

吸込口・吹出口に指や棒などを入れない

(ファンが高速で回転しており、ケガの原因になります)

禁止

⚠注意

カーテン・可燃物近接禁止

カーテンや燃えやすいものを近づけないでください。
(火災が発生するおそれがあります)

禁止

給油時消火

給油は、必ず消火してから行ってください。
(火災のおそれがあります)

消火

改造使用の禁止

温風をダクトなどで、こたつへ引き込むなどの改造はしないでください。
(火災や排気ガスが室内にもれる原因になります)

改造禁止

高温部接触禁止

温風吹出口や給排気筒トップは燃焼中・停止直後は高温になっています。
(やけどをします)

接触禁止

異常時使用禁止

万一異常を感じたときは、使用しないでください。
(異常燃焼のおそれがあります)

禁止

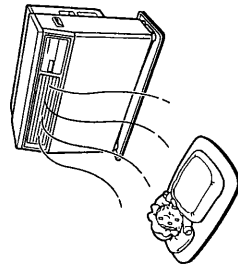
安全のために必ず守ること

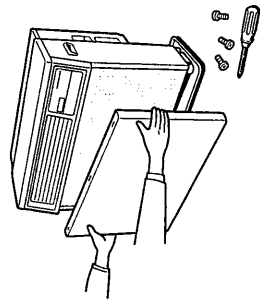
■表示と図記号の意味は、次のとおりになっています。

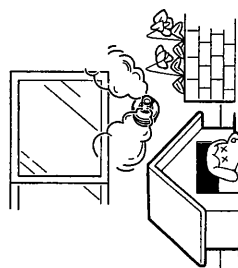
ガンソリン使用禁止　禁止を表わす　分解禁止　指示に従い必ず行う　電源プラグをコンセントから抜く　アースを必ず行う

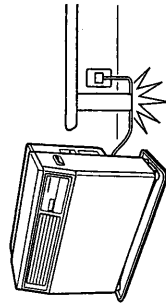
⚠注意

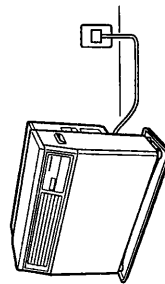
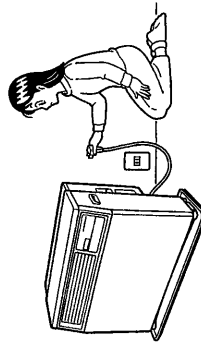
温風に直接あたらない
温風を長時間、直接身体にあてない。
お子さまや身体の不自由な方が使用になるときは、まわりのひとが注意してください。
（低温やけど・脱水症状になるおそれがあります）

禁止

分解修理の禁止
（感電事故の原因になります、不完全な修理は危険です）

分解禁止

排気ガスに注意
愛がん動物や植木などに排気ガスをあてない。
（動物が死んだり、植木が枯れる原因になります）

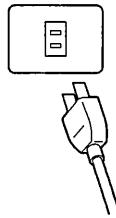
禁止

電源コードを傷めない
電源コードに無理な力を加えたり、物を乗せたりしないでください。
また、コードを持って引き抜かないでください。
（火災や感電の原因になります）

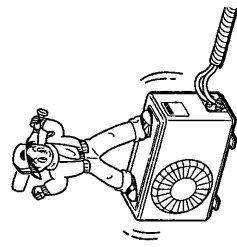
禁止

電源プラグは確実に差し込む
（火災の原因になります）

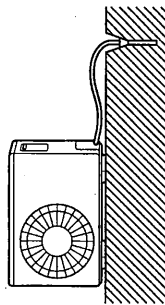
確認

長期間使用しないときは電源プラグを抜く
（火災や予想しない事故の原因になります）

プラグを抜く

⚠注意

電源プラグのお手入れを
ときどき電源プラグを抜き、ほこり（および金属物）を除去してください。
（火災の原因になります）

ほこりを取る

室外ユニットの上に乗ったり、ものをのせない
（落下・転倒によるケガの原因になることがあります）

禁止

アース工事を行う
詳しくは工事説明書をご覧ください。
（感電の原因になることがあります）

アースを行う

電気事故防止

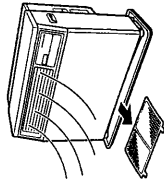
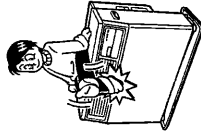
- ●定格電圧以外では使用しない。（火災・感電の原因になります）
- ●濡れた手で電源プラグにさわらない。（感電の原因になります）
- ●電源コードを改造しない。（感電や発熱・火災の原因になります）
- ●電源コードをたばねた状態で使用しない。（発熱・火災の原因になります）
- ●他の電気器具とタコ足配線をしない。（感電や発熱・火災の原因になります）

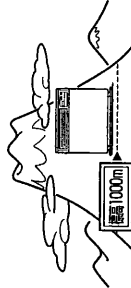
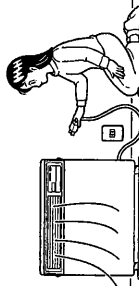
- ●電源プラグを抜くときはプラグを持って抜く。（コードを引っぱると断線して発熱や発火の原因となります）

安全のためのお願い

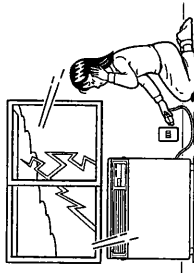
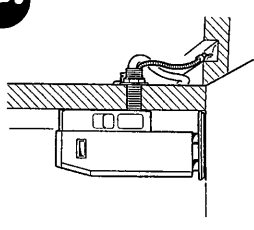
安全のためのお願い

●使用中にエアーフィルターをはずさない
●エアーフィルターをはずしたまま使用しない
(ほこりが機器内部に入り、故障の原因になります)

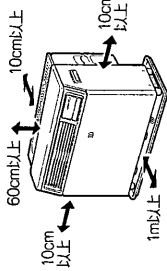
●腰をかけたり、物をのせたり、強いショックをあたえない
(変形・故障・給排気部品のはずれる原因になります)

●燃焼中は電源プラグを抜いたり、元電源(ブレーカー)を切らない
(余熱により故障する原因になります)

●標高1000m以上の高地では使用しない
(不完全燃焼の原因になります)

標高1000m

●熱に弱い床面は保護する
熱に強いマット類を敷いてください
(床面が変色したりそりかえる)

●雷のとき
電源プラグを抜いてください
(故障するおそれがあります)

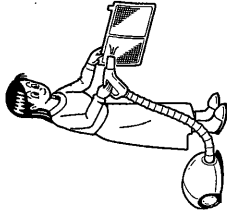
●据付台などが傷んだ状態で放置しない
(室外ユニットが落下し、ケガの原因になることがあります)

●専用回路となっていること、漏電しゃ断器が取付けられていること
詳しくは工事説明書をご覧ください

●ドレンは確実に排水するように配管してあることを確認する
(不確実な場合、ドレンが室内ユニットからあふれ、家財等を濡らすことがあります)

安全に使用するために

●本体周辺の空間寸法を確保する
(マントルピース内据付けについても下記寸法を確保する)

(詳しくは23ページ)

●居室の暖房以外の用途で使用しない
次のような場所では使わない
●乾燥室
●温室
●飼育室
●化学薬品を使用する場所

効果的に使用するために

●エアーフィルターのお手入れは、こまめにする
(暖まりにくいうえに燃料がむだになります)

●温風の循環を妨げない
(均一に暖まりません)

各部のなまえとはたらき

正面

表示部

温風／冷風吹出口

操作部
ふたを開けて操作します。

運転スイッチ

燃焼確認窓
燃焼を確認する窓です。

エアーフィルター
室内空気吸込口にあって空気中のほこりを取除きます。

置台

定油面器リセットレバー
シーズン初めや対震自動消火装置が作動したとき操作します。

背面

給気口
燃焼用空気を吸い込みます。

背面カバー上板

排気筒

給気ホース

ルームサーモ
室温を検知するためのものです。

ゴム製送油管

電源プラグ

（給油アタッチメント）

（水フィルター付コック）

（金属製送油管）

ドレンホース

（冷媒配管・室内外連絡電線）

給排気筒トップ

トップフード

排気口
排気ガスが出ます。

（油タンク）

（送油バルブ）

（室外ユニット）

※（ ）のついている部品は別売りです

※VGU-32BFの場合は室外ユニット専用電源が必要です

表示部・操作部のなまえとはたらき

使用前の準備（燃料・給油）

燃　料

■必ずJIS１号灯油を使う
ガソリン、変質灯油、不純灯油などは、絶対に使用しないでください。

灯油とガソリンの見分けかた
指先につけて息をふきかけます。
（火の気のない所でしてください）

■変質灯油とは
- ポリタンクで昨シーズンより持ち越したもの。
- 日光のあたる場所で長期間保管したもの。
- 温度が高い場所で長期間保管したもの。

見分けかた
水よりも色がついていたら変質灯油です。
変質のひどいものは、黄色みを帯びたり、すっぱい臭いがします。

■不純灯油とは
- 水やごみが混入したもの。
- 灯油以外の油（天ぷら油、機械油、ガソリン等）が混入したもの。
- 助燃剤等が混入したもの。

■誤って変質灯油、不純灯油を使用してしまった場合

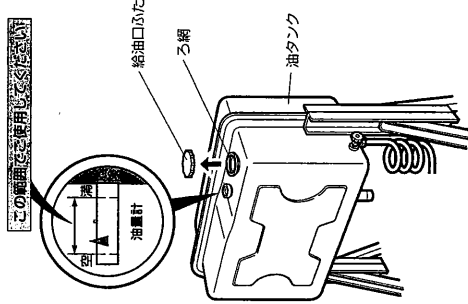
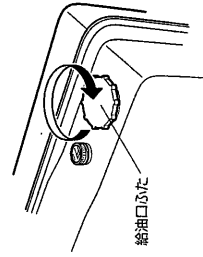
デジタル表示部にエラー表示
E-01 ⇨ 販売店に修理依頼をする。
E-13 ⇨

■油タンクの据付けの確認
油タンクの据付け・接続は販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施しますが、据付工事完了後お客さまご自身でもご確認ください。……40ページ

給　油

■給油の手順
空になる前に灯油を入れてください。
（空になると配管途中に空気がたまって、油が流れません）

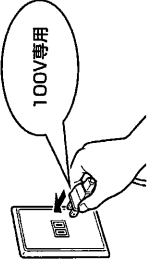
⚠警告　ガソリン厳禁

1. 油タンクの給油口ふたをはずす。
2. 給油口についている「ろ綱」の上からこぼさないように灯油を入れる。

3. 給油口ふたを確実に閉める。

［お願い］
万一、こぼれた場合はよくふきとってください。

使用前の準備（運転開始前の準備・確認）

この製品は、暖房・冷房・ドライの3通りの運転ができます。

運転開始前の準備（暖房時・冷房時）

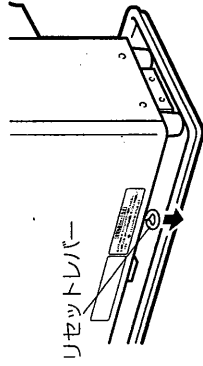
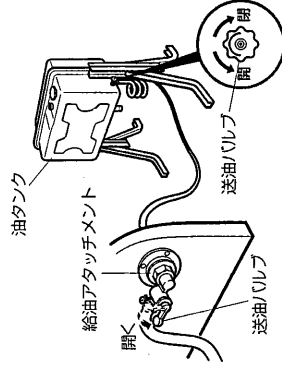
（はじめに）

■電源プラグを専用コンセントに差し込む

100V専用

運転開始前の準備

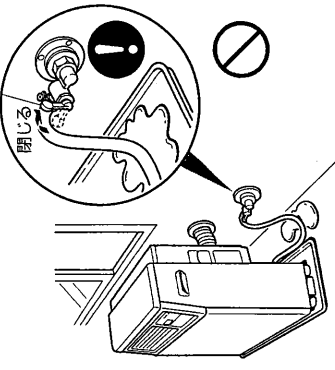
（暖房時）

■定油面器のセット

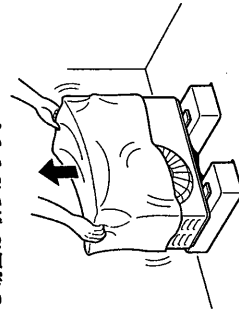
1. 定油面器のリセットレバーを1回下げる。
2. リセットレバーが元の位置に戻っているか確認する。

■油タンクの送油バルブと給油アタッチメントの送油バルブを開く

［お願い］
シーズン初めや本体に強い振動が加わり対震装置ランプが点灯した後で再運転するときは、リセットレバーをもう一度下げてください。

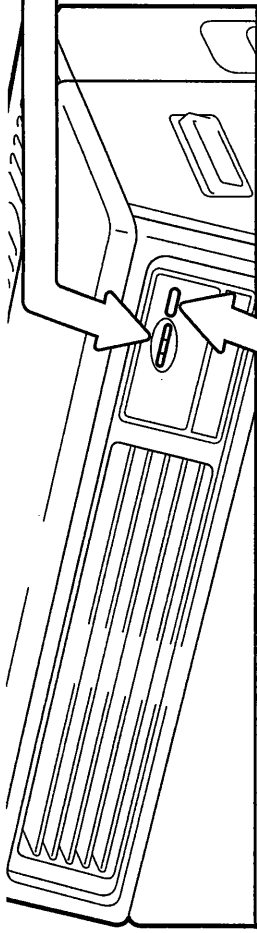
運転開始前の確認

（暖房時）

■製品や配管から油漏れがないか確認してください。
万一、油漏れしている場合は送油バルブを閉じて、必ずお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

送油バルブ
閉じる

（冷房時）

1. 室外ユニット電源は単相200Vに接続する。（VGU-32Bタイプのみ）
2. 室外ユニットに保護カバーをかけている場合は取りはずす。

使いかた

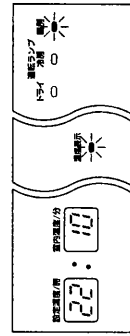
ふだんの使いかた（暖房時）

点火のしかた

運転スイッチを押す

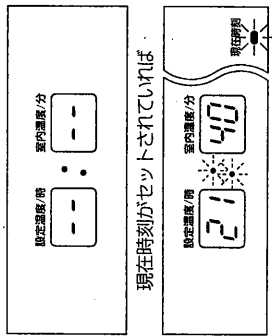
運転スイッチ　入　切

●暖房ランプが点灯する。
●約7分後に、温風が出はじめ自動運転を開始します。

表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 10　温度表示　ドライ　運転ランプ 冷房　暖房

工場出荷時、設定温度は暖房時22℃に設定されています。

消火のしかた

運転スイッチを押す

運転スイッチ　入　切

●しばらくして送風が止まります。

表示部

設定温度/時 -- : 室内温度/分 --

現在時刻がセットされていれば

設定温度/時 21 : 室内温度/分 40　現在時刻

●外出するときは、必ず消火してください。

現在時刻の合わせかた……18ページ

例】
21時40分の表示

室温調節 [温感コントロール]

室内温度変化を検知して、室温を自動的にむだのない快適温度に調節します。

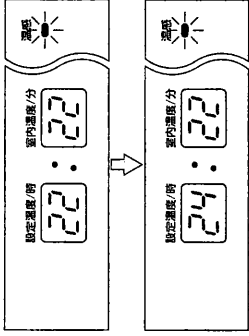
■寒いときは

「寒いとき」スイッチを押す

寒いとき

●温感ランプが点灯する。
●設定温度が室内温度より1～3℃上がる。

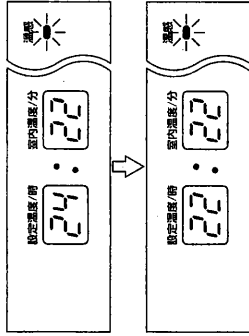
表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 22　温感
⇩
設定温度/時 24 : 室内温度/分 22　温感

設定温度が室内温度より2～3℃以上高いときは押しても作動しません。

■ちょうどいいときは

「快適」スイッチを押す

快適

●温感ランプが点灯する。
●現在の暖かさを保つ。

表示部

設定温度/時 24 : 室内温度/分 22　温感
⇩
設定温度/時 22 : 室内温度/分 22　温感

設定温度と室内温度表示が一致しないときがあります。

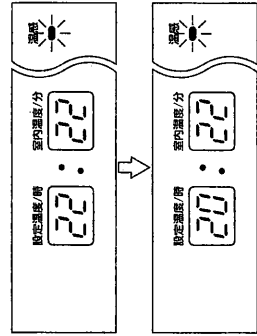
■暑いときは

「暑いとき」スイッチを押す

暑いとき

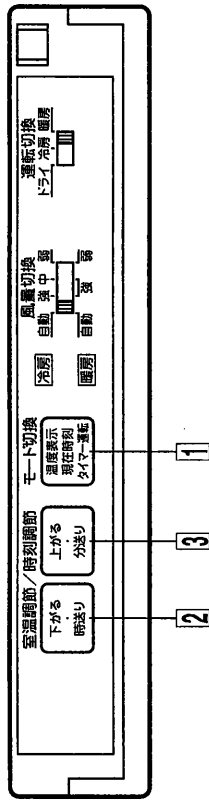
●温感ランプが点灯する。
●設定温度が室内温度より1～3℃下がる。

表示部

設定温度/時 22 : 室内温度/分 22　温感
⇩
設定温度/時 20 : 室内温度/分 22　温感

設定温度が室内温度より2～3℃以上低いときは押しても作動しません。

メモ 次のようなときは温感コントロールが解除されます。
●室温調節ボタンを押したとき

いろいろな使いかた〈暖房時〉

時刻合わせのしかた

例】14時30分に合わせる場合

（準備）・運転スイッチを「入」にする。

表示部

1 モード切換ボタンを押して現在時刻モードにする

モード切換（温度表示・現在時刻・タイマー運転）

●現在時刻表示ランプが点灯する。
●デジタル表示部が点滅する。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

下がる・時送り

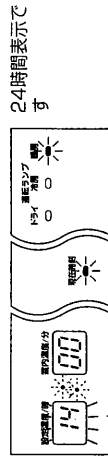
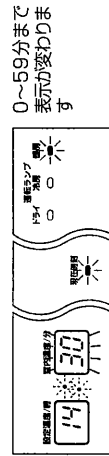
●14時を表示させる。

24時間表示です

3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

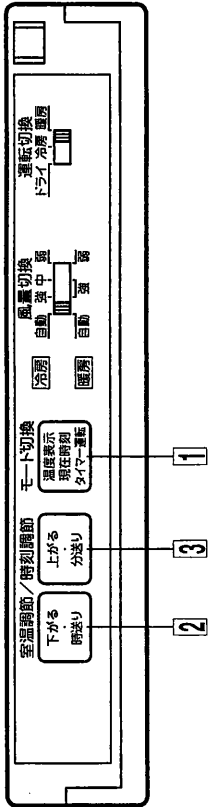
上がる・分送り

●30分を表示させる。

0~59分まで表示が変わります

ミニ情報　「時送り」・「分送り」ボタンは押し続けると表示が連続して変わります。

いろいろな使いかた〈暖房時〉

タイマー運転のしかた［おはよう］

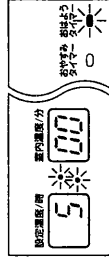
寝る前に「おはようタイマー」をセットすると、おめざめのときにはお部屋が暖まっています。

例】6時30分にセットする場合

（準備）・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。

表示部

1 モード切換ボタンを押しておはようタイマーモードにする

モード切換（温度表示・現在時刻・タイマー運転）

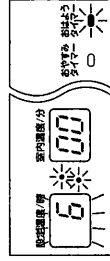
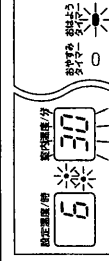
●おはようタイマーランプが点灯する。
●おはようタイマー時刻が表示する。

●燃焼中に押すと燃焼が停止します。
●おはようタイマー時刻は工場出荷時「5:00」にセットされています。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

下がる・時送り

●6時を表示させる。

3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

上がる・分送り

●30分を表示させる。

メモ　次のようなときはおはようタイマー運転が解除されます。
●モード切換ボタンを押しておはようタイマーランプが消灯したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

■毎日同じ時刻におはようタイマー運転をしたいとき
●モード切換ボタンを押しておはようタイマーモードにします。
タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

ウォーミングアップ機能とは

おはようタイマー時刻の30分前の室温を検知し、15℃未満の場合おはようタイマー時刻より前から運転を開始します。

■ウォーミングアップ運転開始時刻の目安

おはようタイマー時刻30分前の室温	0℃未満	0~4℃	5~15℃未満	15℃以上
燃焼開始時刻	約20分前	約15分前	約10分前	設定時刻

標準的な部屋で、室内温度が15℃前後になるように設定したもので、外気温度や部屋の広さによりこの温度にならないことがあります。

いろいろな使いかた〈暖房時〉

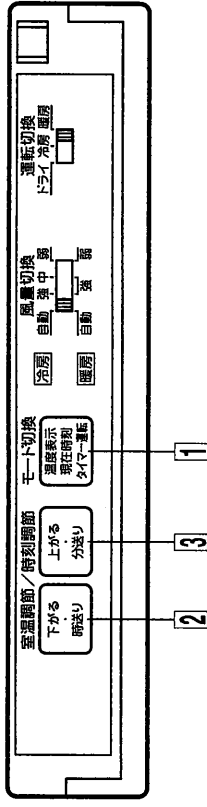
タイマー運転のしかた [おやすみ]

寝る前に「おやすみタイマー」をお好みの時刻にセットしておやすみになりますと自動的に運転を停止します。

例】23時15分にセットする場合

準備
・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。

1 モード切換ボタンを押しておやすみタイマーモードにする

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●おやすみタイマーランプが点灯する。
●おやすみタイマー時刻が表示する。

表示部

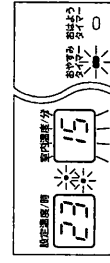
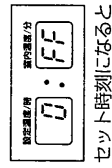
●おやすみタイマー時刻は工場出荷時「22：00」にセットされています。

2 時刻調節ボタン「時送り」を押す

下がる・時送り

●23時を表示させる。

3 時刻調節ボタン「分送り」を押す

上がる・分送り

●15分を表示させる。

セット時刻になると

メモ 次のようなときはおやすみタイマー運転が解除されます。
●モード切換ボタンを押しておやすみタイマーランプが消灯したとき
●運転スイッチを押して「切」にしたとき

■毎日同じ時刻におやすみタイマー運転をしたいとき
●モード切換ボタンを押しておやすみタイマーモードにします。
タイマー時刻は一度セットすれば記憶されています。

いろいろな使いかた〈暖房時〉

タイマー運転のしかた [おやすみ・おはよう]

おやすみタイマーで運転を停止し、おはようタイマーで運転を開始します。おめざめのときにはお部屋が暖まっています。

準備
・運転スイッチを「入」にする。
・現在時刻を合わせていないと使用できません。
・おやすみタイマー時刻をセットする ……20ページ
・おはようタイマー時刻をセットする ……19ページ

1 モード切換ボタンを押しておやすみタイマー・おはようタイマーモードにする

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●おやすみタイマーランプとおはようタイマーランプを点灯させる。
●おやすみタイマー時刻が表示する。

表示部

例】おやすみタイマー時刻を23時15分にセットした場合

●おやすみタイマー時刻に運転を停止し、おはようタイマー時刻が表示する。
●おはようタイマー時刻に運転を開始します。

例】おはようタイマー時刻を6時30分にセットした場合

メモ おはようタイマーで運転を開始して、おやすみタイマーで運転を停止することはできません。

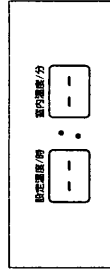
使いかた

ふだんの使いかた（冷房時）

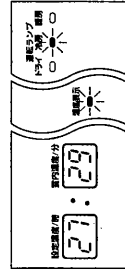
運転開始

1 操作部のふたを開けて運転切換スイッチを「冷房」にする

運転切換 ドライ 冷房 暖房

表示部

2 運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

- 冷房ランプが点灯する。
- 冷房運転を開始する。

工場出荷時設定温度は27℃に設定されています。

運転停止

運転スイッチを押す

運転スイッチ 入 切

- しばらくして送風が止まります。

表示部

設定温度/時 室内温度/分 -- : --

現在時刻がセットされていれば

- 外出するときは、必ず停止してください。

設定温度/時 室内温度/分 21 : 40 現在時刻

現在時刻の合わせかた ……18ページ

例】
21時40分の表示

冷房時のタイマー運転のしかたは、暖房時のタイマー運転のしかたに従ってください。 ………19~21ページ

室温調節［温感コントロール］

室内温度変化を検知して、室温を自動的にむだのない快適温度に調節します。

■寒いときは

「寒いとき」スイッチを押す

寒いとき

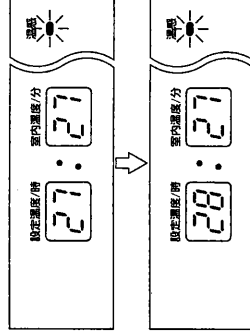
- 温感ランプが点灯する。
- 設定温度が室内温度より1℃上がる。

表示部

設定温度/時 室内温度/分 27 : 27 温感 → 28 : 27 温感

■ちょうどいいときは

「快適」スイッチを押す

快適

- 温感ランプが点灯する。
- 現在の涼しさを保つ。

表示部

設定温度と室内温度表示が一致しないときがあります。

■暑いときは

「暑いとき」スイッチを押す

暑いとき

- 温感ランプが点灯する。
- 設定温度が室内温度より1℃下がる。

表示部

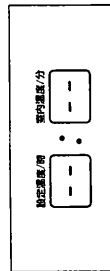
メモ 次のようなときは温感コントロールが解除されます。
- 室温調節ボタンを押したとき

ふだんの使いかた（ドライ時）

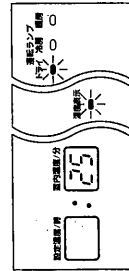
運転開始

1 操作部のふたを開けて運転切換スイッチを「ドライ」にする

運転切換 ドライ 冷房 暖房

表示部

2 運転スイッチを押す

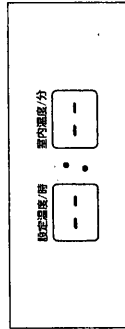
運転スイッチ 入 切

●ドライランプが点灯する。
●ドライ運転を開始する。

運転停止

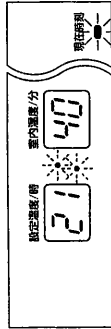
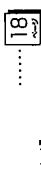
運転スイッチを押す

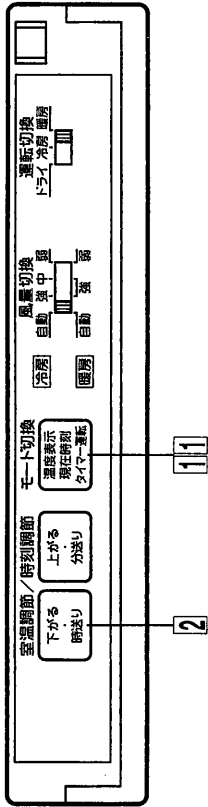
●しばらくして送風が止まります。

●外出するときは、必ず停止してください。

表示部

現在時刻がセットされていれば

現在時刻の合わせかた ……18ページ

例】
21時40分の表示

メモ
●ドライ運転中は室温調節、風量切換はできません。
●ドライ運転中は設定温度は表示されません。

ドライ時のタイマー運転のしかたは、暖房時のタイマー運転のしかたに従ってください。…………19~21ページ

室温調節／モード切換のしかた

室温調節のしかた

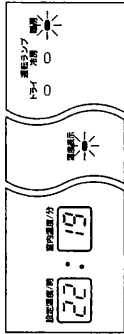
例】設定温度を20℃に調節する場合

（準備）・運転スイッチを「入」にする。

表示部

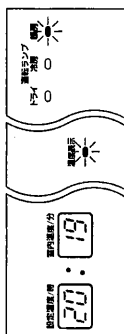
1 温度表示ランプの点灯を確認する

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●点灯していないときは、モード切換ボタンを押して温度表示モードにし、温度表示ランプを点灯させる。

モード切換ボタンを押すごとに変わります。
下記のモード切換のしかた参照。

2 室温調節ボタン「下がる」を押す

下がる・時送り

●20℃を表示させる。

●暖房時は8℃~30℃の範囲で調節できます。
冷房時は16℃~32℃の範囲で調節できます。
●温度表示ランプが点灯中のとき操作できます。

モード切換のしかた

温度・現在時刻・タイマー運転のいずれかを選択して設定・変更および確認ができます。

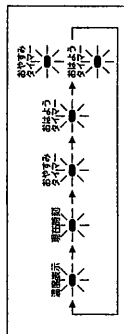
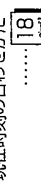
1 モード切換ボタンを押す

モード切換 温度表示 現在時刻 タイマー運転

●ボタンを押すごとに表示が右のように変わります。
●現在時刻が設定されていないと、タイマー運転に切換わりません。

表示部

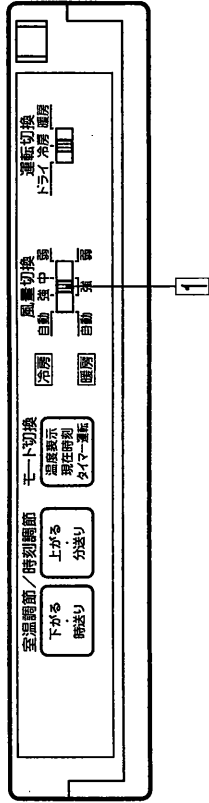
温度表示 → 現在時刻 → おやすみタイマー → おはようタイマー → おやすみタイマー・おはようタイマー

現在時刻の合わせかた ……18ページ

表示切換の種類

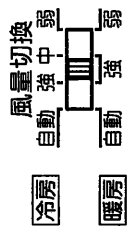
■**温度表示は**
設定温度の変更のとき使います。

■**現在時刻は**
現在時刻を合わせるとき使います。

■**タイマー運転は**
おはようタイマー時刻(おやすみタイマー時刻)の変更と、運転のとき使います。

風量切換のしかた／停電のとき

風量切換のしかた

1 風量切換スイッチを切換える

●ドライ運転時はスイッチの位置に関係なく自動運転となり風量の切換えはできません。

暖房時の風量切換の種類

■自動は	■強は	■弱は
「強～弱燃焼～消火」を組み合わせて室温制御し、燃焼量に応じた風量で暖房を行います。	「強燃焼」と「消火」の組み合わせで運転し、広い部屋などで温風を強風で遠くに送り、室内の温度ムラを少なくします。	●弱燃焼のみで運転し、できるだけ燃焼を止めないようにして温風のとぎれのない運転を行います。 ●設定温度表示は「30」に変わります。 ●暑いと感じたときは、設定温度を下げることができますが記憶はされません。

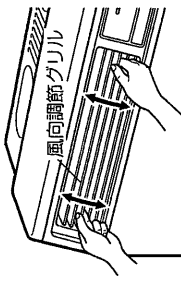
冷房時の風量切換の種類

■自動は	■強は	■中は	■弱は
部屋の温度変化により、自動的に風量を調節します。	急速に冷やしたいときに使用します。	強運転と弱運転の中間程度の効果が得られます。	ゆるやかな冷風となり、静かな運転音で冷房運転をします。

停電のとき

停電または電源プラグを抜いたときはすべての設定が取り消されます。再度下記の設定を行ってください。

●設定温度……………… 17ページ 23ページ
●現在時刻……………… 18ページ
●おはようタイマー運転……… 19ページ
●おやすみタイマー運転……… 20ページ

風向き調節のしかた

風向きを上・下に変えることができます。風向調節グリルの両端を両手でつまみ、上・下に軽く動かします。

※暖房時は風を下向きに、冷房時は上向きにすると効果的な暖・冷房ができます。

［お願い］ 暖房中は、温風・冷風吹出口が熱くなりますので、風向き調節はしないでください。

日常の点検・手入れ 暖房時

点検・手入れのときの注意

●必ず運転スイッチを「切」にして運転を停止し、製品が冷えた状態で行ってください。
●お手入れの際はけが防止のために手袋の着用をおすすめします。

■シーズンはじめ

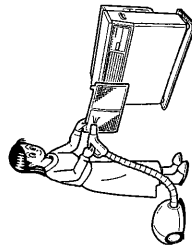
●**給気ホース・排気筒**
エアーフィルターをとり、給気ホース・排気筒の接続箇所がはずれていないか確認します。

●**給排気筒トップ**
屋外の給排気筒トップ先端がくもの巣やビニール袋などでふさがれていないか点検します。

●**定油面器リセット**
リセットレバーを下げます。………15ページ

●**時刻合わせ**
時刻合わせのしかたにより設定してください。………18ページ

■1週間に1回程度

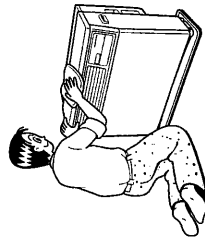
●**エアーフィルターの清掃**
エアーフィルターを、図のように取りはずし、掃除機などでほこりを取り除きます。温風吹出口から風が出ていないのを確認してから行ってください。送風中に行うと本体内部にほこりが入ることがあります。清掃後は必ず元通り取り付けてください。

■使用のたびに

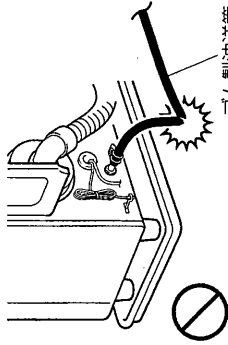
●**排気ガス**
排気ガスのにおいや、目がチカチカしないか点検します。排気ガスが室内に漏れていると一酸化炭素中毒の恐れがあり非常に危険です。

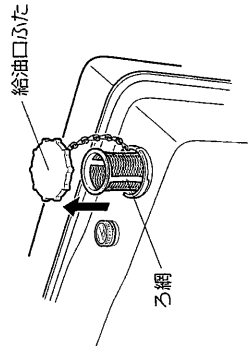
●**油漏れ、油のたまり、油のにじみ**
ゴム製送油管や置台に油漏れ、油のたまり、油のにじみがないか点検します。

●**周囲の可燃物・引火物**
本体の上や周囲・給排気筒トップの周辺に可燃物、引火物がないか点検します。

■1か月に1回以上

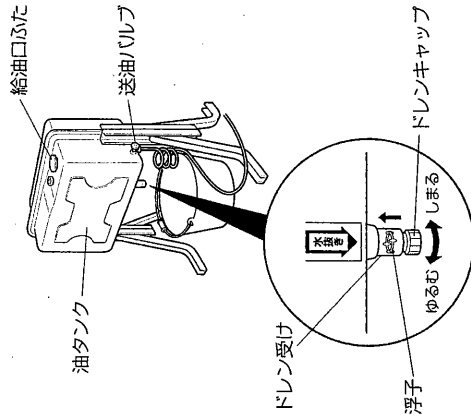
●**外観の清掃**
製品外観・温風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■1シーズンに2～3回

●**ゴム製送油管**
ひび割れがないかを確認する
ゴム製送油管は劣化するので3年に1度新しいゴム製送油管に交換してください。
交換はお買上げの販売店またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

●**ろ網**
灯油で洗う

1. 給油口ふたをはずします。
2. ろ網を取りはずします。
3. きれいな灯油で洗います。
4. 元通り、ろ網と給油口ふたを取り付けます。

[お願い] 水では洗わないでください。

●**油タンク**
浮子を目安に水抜きする
油タンク内に水が入るとドレン受け内の浮子が浮き上がるので水抜きをします。

1. 送油バルブを「止」にします。
2. ドレン受けの下に4ℓ以上の容器を置き、ドレンキャップを2～3回転ゆるめ水抜きをします。
3. 水抜きが終わりましたらドレンキャップを元通り締め付けます。
4. 浮子が沈んでいるのを確認します。
5. 送油バルブを開きます。

日常の点検・手入れ 冷房・ドライ時

■シーズンはじめ

●**室外ユニットの点検**
保護カバーがかかったままになっていないか点検します。

■1か月に1回以上

●**外観の清掃**
室内・室外ユニット外観、置台、温風・冷風吹出口などの汚れは乾いたやわらかい布などできれいにふきとります。
シンナー・アルコール・ベンジンなどは使用しないでください。

■1週間に1回程度

●**エアーフィルターの清掃**
エアーフィルターを取りはずし、掃除機などでほこりを取り除きます。
清掃後は必ず元通り取り付けてください。

■1シーズンに2～3回

●**室外ユニットの周囲の点検**
室外ユニットの周囲は物などでふさがれないよう清掃してください。

定期点検 2シーズンに1回、定期点検をおすすめします。

長期間ご使用になりますと機器の点検が必要になります。未然にトラブルを防止し安心してご使用いただくため、シーズン終了後などに、お買上げの販売店、又は三菱電機お客さま相談窓口(42ページ)又は修理資格者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会(TEL:03-3499-2928)で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる店で定期点検を受けてください。
定期点検・交換部品の費用は、お客様にご負担いただきます。
安全にお使いいただくために製品の状態を点検診断するものですから必ず受けてください。

地震などの災害が発生したときの点検

☆地震などにより製品に振動、衝撃が加わったときは、運転をする前に必ず次の点検を実施してください。
点検内容
●給排気回りのはずれ、漏れの確認
●送油経路部の油漏れ確認
☆点検で異常が見つかったときや、点検したのち使用しているときに排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカするときは使用を中止してお買上げの販売店またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口(修理窓口)へ修理依頼してください。

故障・異常の見分けかたと処置方法

■表示ランプにより異常をお知らせします

表示	原因	処置方法
運転ランプが点灯しない	電源プラグがコンセントから抜けている	電源プラグをコンセントに確実に差し込む
	温風吹出口がしゃ閉されて、**過熱防止装置**が作動している	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
	異常過熱防止装置が作動している	お買上げの販売店にご相談ください
	異常着火検知装置が作動している	
フィルターランプが点滅する	エアーフィルターにほこりがつまっている	エアーフィルターを清掃する
	温風吹出口がしゃ閉されている	温風吹出口のしゃ閉物を取り除く
対震装置ランプが点滅する	強い地震や衝撃を受けていませんか？	『地震などの災害が発生したとき』の点検項目を確認し運転スイッチを押しなおす ……31ページ
	対震自動消火装置が作動した	
	温風吹出口がしゃ閉されて**過熱防止装置**が作動した	温風吹出口のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
E－00	停電がありませんでしたか？	運転スイッチを押しなおす
	停電安全装置が作動した	時刻設定をする ……18ページ
E－01 **（点火安全装置・燃焼制御装置）**	定油面器がセットされていない	定油面器をセットする ……15ページ
	給油アタッチメント・送油バルブ・水フィルター付コック・油タンクバルブが閉まっている	閉められいてるバルブおよびコックを開く
	油タンクに油がない	給油する ……14ページ
	油タンクに水が入っている	油タンクの水抜きをする ……29ページ
	配管途中に凹凸配管がある	凹凸配管をなくす
	配管中の水フィルター付コックにゴミが詰まって油が流れない	掃除をする
	給排気筒トップの先端がふさがれている	先端のしゃ閉物を取り除き運転スイッチを押しなおす
	油タンク据付け高さが規定外である	お買上げの販売店にご相談ください

表示	原因	処置方法
E－06	電源に異常がありませんでしたか？	電源プラグをコンセントに確実に差し込みなおしてください
E－13	異常燃焼している （**異常燃焼検知装置**の作動）	給排気筒トップの給気口・排気口が異物でふさがれていないか確認し、異物を取り除いてから運転スイッチを押しなおしてください
E－02　E－03 E－04　E－05 E－07　E－08 E－14	故障です	電源プラグを抜き、お買上げの販売店に表示の内容をご連絡ください
排気筒はずれ検知ランプが点滅する	排気筒がはずれていませんか？	お買上げの販売店にご連絡ください。
室内温度表示（L）	室内温度が6℃未満	そのままご使用ください 室温が上がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
室内温度表示（H）	室内温度が32℃以上	そのままご使用ください 室温が下がっても表示が変わらないときはお買上げの販売店にご連絡ください
E－99	運転中に運転切換スイッチを切換えた	再度運転スイッチを押して『切』にしてから『入』にしてください

こんな症状のときは

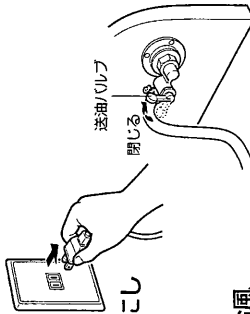
使用を中止しお買上げの販売店に修理依頼、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にご相談ください。

症状	予測される故障
燃焼確認窓が『すす』で汚れて炎がみえない	不完全燃焼をしている
使用中に『ボーン』という大きな音がする	部品が故障している
排気ガスのにおいがしたり、目がチカチカする	排気ガスが室内にもれている
ブレーカーがたびたび作動する	部品が故障している
室内ユニット背面や下側から水がもれている	ドレンホースがはずれていたり、詰まっている

故障・異常の見分けかたと処置方法

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
点火時	すぐ点火しない	予熱時間約5分必要です
点火時	ピシッピシッと音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
点火時	運転スイッチ『入』でなかなか点火しない	室内温度表示が設定温度より高いと点火しません 設定温度を上げてください
燃焼時	室内温度表示と室温が一致しない	室内ユニットの右側に壁、家具等がある場合には一致しないことがあります ルームサーモの位置を変えることにより室内温度表示と室温を近づけることができます
燃焼時	3分に一回程度温風が変化する	燃焼制御装置が働いているためです
燃焼時	弱運転にすると設定温度が30℃に変わる	弱運転にすると設定温度が30℃になるよう設定されています (室温調節つまみでお望みの温度に変えてください)
燃焼時	給排気筒トップから湯気が出る	排気ガスは水蒸気を多く含んでいます 水蒸気が冷たい外気にふれて白く見えるためです
消火時・その他	ピシッピシッと音がする	燃焼器の熱伸縮音がすることがありますが異常ではありません
消火時・その他	時刻表示が進む	同一電源を使用している機器がノイズを発生していませんか ノイズを発生している機器を取除くなどしてノイズ対策を行ってください
消火時・その他	部屋が乾燥する	部屋の温度が上がると湿度が下がります 市販の加湿器をご使用ください
消火時・その他	運転スイッチ「切」で送風が止まらない	燃焼余熱で本体が暖かいため、しばらくすると送風が止まります

■故障かな？ 次の症状は故障ではありません

	症状	原因
冷房時	部屋が冷えない	下記事項を確認してください ・冷房能力が部屋の大きさと適合していますか ・室外ユニットに保護カバーがかかったままになっていませんか ・室外ユニットの周囲に障害物がありませんか(通風を確保する) ・室外ユニットに直射日光があたっていませんか ・エアーフィルターにほこりがつまっていませんか
冷房時	運転を開始するときや、室温調節器が作動し、運転を再開したとき「シュー」と音がする	冷房に使用するガス（冷媒）が流れ始めた音で異常ではありません
冷房時	冷風吹出口から霧が出る	室内の温度条件によって起こることがありますが異常ではありません
冷房時	冷風吹出口の回りに水（ドレン）が付く	使用条件によって冷風吹出口の回りに水滴が付く場合がありますので、ぞうきんなどでふき取ってください
冷房時	室外ユニットから「キュン、キュン」と音がすることがある	運転周波数の変化するときの音で、異常ではありません
冷房時	初めて運転したときやシーズンの始めににおいが出る	空気中に含まれたタバコの煙、化粧品、食品などのにおいが室内ユニットに付着し、それが吹きだすためです しばらく換気しながら使用してください
冷房時	**冷房時3分再起動防止装置** 冷房運転停止後、すぐに（3分以内）再運転すると室内ユニットはただちに運転を開始しますが、室外ユニットは運転しない	室外ユニット保護のため、冷房時3分再起動防止装置が作動し、約3分後に自動的に運転を再開します

以上のことをお調べになって、それでも不具合があるときは使用を中止し、必ず電源プラグを抜いてください。その後お買上げの販売店か、お近くの「三菱電機お客さま相談窓口」にご相談ください。

部品交換のしかた

部品の交換が必要な場合には、
お買上げの販売店、またはお近くの三菱電機お客さま相談窓口にお問い合わせください。
専門技術者〔(財)日本石油燃焼機器保守協会で行う技術管理講習会修了者(石油機器技術管理士)など〕のいる販売店にご相談ください。不完全な修理は危険です。

保管(長期間使用しない場合)

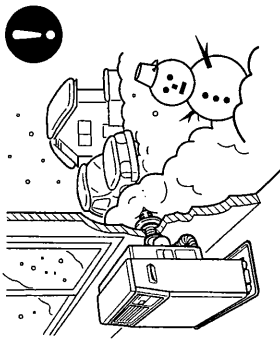
■長期間使用しないとき(シーズン終了時)は、次の要領でお手入れしてください。
室内・室外ユニットは据付けたままにしてください。

❶ 電源プラグを専用コンセントから抜いてください。

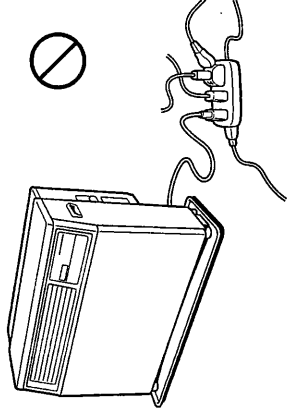
❷ 油タンクおよび給油アタッチメントの送油バルブを「閉」にしてください。(暖房シーズン終了時)

❸ 室内・室外ユニットの外観、エアーフィルター、温風／冷風吹出口の掃除をしてください。

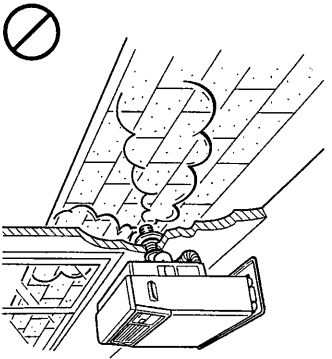
❹ 室外ユニットに保護カバー(システム部材)をかけることをおすすめします。(冷房シーズン終了時)

[お願い]	どうしても取りはずして保管するときは湿気やほこりの少ないところに保管してください。 再び据付けるときは必ずお買上げになった販売店に依頼してください。 お客さまご自身では、据付工事をしないでください。
	室内・室外ユニット内部の清掃は必ずお買上げの販売店に依頼してください。

据付け

据付場所の選定

製品の据付けは販売店・工事店が火災予防条例などに基づき実施していますが据付工事完了後、販売店・工事店とともにお客さまご自身でもご確認ください。
また、「標準取付け図例」については、38ページを参照してください。

⚠警告

給排気筒トップ閉そく危険
積雪の多いときは、給排気筒トップが雪でふさがれていないか確認し、ふさがれているときは除雪をしてください。
(排気ガスが室内にもれ、一酸化炭素中毒の原因になります)

⚠注意

タコ足配線で使わないでください。
電源コンセント(単相100V)は専用でお使いください。

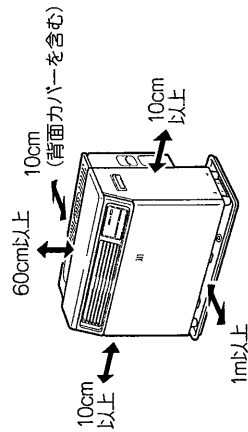
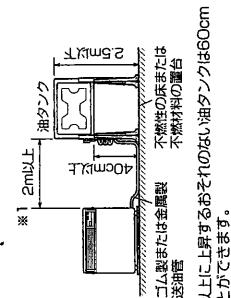
[お願い]

排気ガスをよどませないでください。
排気ガスを再度吸い込んで不完全燃焼を起こすことがあります。

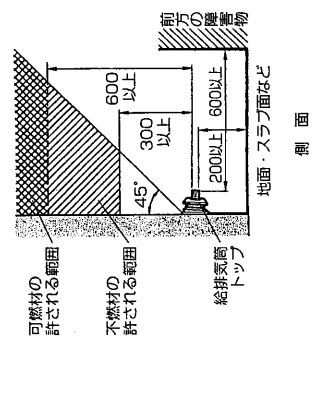
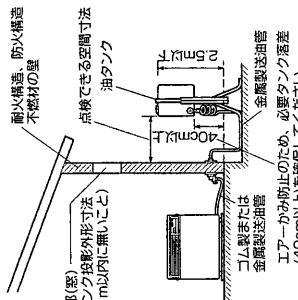
据付け

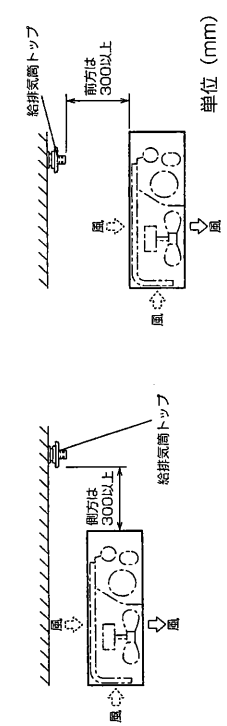
製品と周囲との距離(標準取付け図例)

製品を据付ける場合は、石油燃焼機器の設置基準〔(財)日本石油燃焼機器保守協会〕で決められている下図の可燃物との距離を必ずとってください。
アフターサービス、定期点検、更に給排気回りの点検を行うためにも必要です。

室内ユニット

油タンク(200 ℓ 未満)を屋内に据付ける場合

※1.油温が引火点以上に上昇するおそれのない油タンクは60cm以上とすることができます。

付属のゴム製送油管が短く室内ユニットと油タンクとの離隔距離が確保できなかったり、給油コックに接続できない場合は、当社サービス部品の給油ホース2.5m品(M45508261)をご使用ください。

油タンク(200 ℓ 未満)を屋外に据付ける場合

600mm以上の寸法は、不燃材を使用する場合、300mm以上とする

給排気筒トップと室外ユニットとの離隔寸法

(排気ガスおよび給排気筒トップのドレンがかかると室外ユニットの腐食の原因になります)

**室外ユニットは、周囲が風通しがよく、ほこりの少ないところに据付けてください。
周囲に壁など障害物がある場合は、ショートサイクルや据付工事、アフターサービスを考慮して、下記の空間を確保してください。**

前方、後方に障害物があるとき

VGU-22EF
図の寸法まで可能です。

注1 風通しの悪い所では前方または後方に200mm以上のスペースをあけてください。
注2 壁に向けて吹き出すと壁が汚れる場合があります。

VGU-32BF
使用できません。

(ショートサイクルとなり、性能が確保できません)

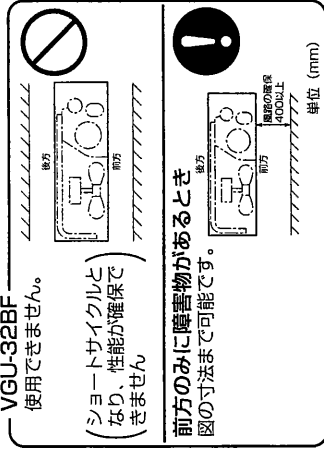
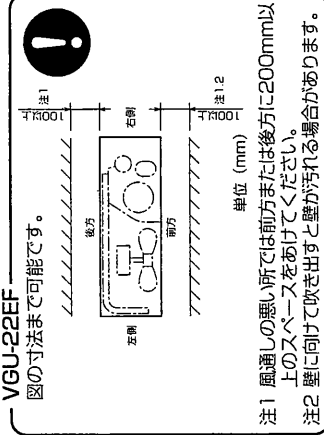
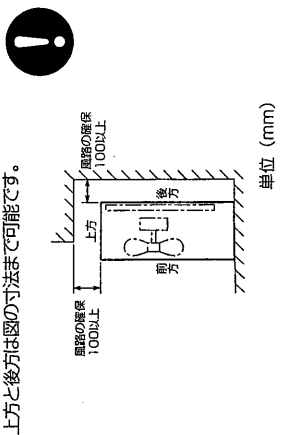
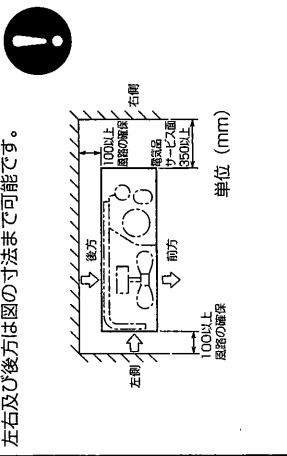
前方のみに障害物があるとき

図の寸法まで可能です。

前方と左右が開放のとき

上方と後方は図の寸法まで可能です。

上方と前方(吹出側)が開放のとき

左右及び後方は図の寸法まで可能です。

据付工事後の確認

据付工事終了後に販売店・工事店とともにお客さまご自身でも下表に基づき点検してください。

点検箇所	点検項目	チェック結果
室内ユニット	室内ユニットの回りは必要な空間がありますか。	
	床面の不安定な場所に据付けてありませんか。	
	丈夫な床面に室内ユニットが固定してありますか。	
	室内ユニット・ゴム製送油管から油もれはありませんか。	
	ゴム製送油管を屋外で使用していませんか。(屋外は金属配管)	
油タンク	油タンクや送油管から油もれはありませんか。	
	油タンクの据付けは基準寸法が守られていますか。	
給排気部品	給排気筒トップの周囲は基準寸法が守られていますか。	
	排気筒に給気ホースやカーテンなど、燃えやすいものが接触していませんか。	
	給排気筒のはずれ・ゆるみがありませんか。	
	排気ガスが屋外へ排気されるようになっていますか。	
	給排気筒トップの取付けが屋外に向って下り勾配になっていますか。	
	給排気筒トップの周囲に障害物(樹木・愛がん動物・雪のふきだまり)はありませんか。	
	給排気筒トップの周囲に危険物(灯油・ガソリン・プロパンガス)はありませんか。	
	トップフードが必ず取付けられていますか。	
	トップフードの給気口・排気口が異物でふさがっていませんか。	
	集合煙突に給排気筒を取付けた工事はされていませんか。	
給排気部品(延長工事)	床下・天井裏へ給排気してありませんか。	
	壁埋込みの配管工事はしてありませんか。	
	排気筒の長さは給気ホースに比べ極端に長くなっていませんか。	
	給気ホース・排気筒の長さは3m以内で曲がり数3箇所以内ですか。	
	排気筒の途中に水がたまるようなへこみ部はありませんか。	
	排気筒の延長立上げ寸法は1.8m以下になっていますか。	
室外ユニットおよびその周辺	据付け点検・修理に必要な空間はありますか。	
	床面が不安定な場所に据付けてありませんか。	
	室外ユニットと給排気筒トップとの必要な空間がありますか。	
	ストップバルブ(2方弁、3方弁)が全開になっていますか。	
	接続部は冷媒もれがなく、また、断熱されていますか。	
	冷媒配管の配管長はVKC-423Hは10m以下、VKC-523Hは15m以下ですか。	
	冷媒配管の高低差は5m以下ですか。	
	冷媒配管の曲がり箇所は10か所以内ですか。	
	ドレン配管は下り勾配になっていますか。	
電気配線	電源プラグはコンセントに確実に差し込まれていますか。	
	電源コードは高温部に触れていませんか。	
	電源コンセントは電源プラグの抜き差しが容易な位置にありますか。	
	室内外連絡電線は確実に接続されていますか。	
	VKC-523Hの室外ユニットは専用の単相200V電源になっていますか。	
排気筒はずれ検知リード	排気筒はずれ検知リードは、給排気筒トップに接続されていますか。	
	排気筒はずれ検知リードは、給気ホースにそって固定されていますか。	

上記が守られていないと火災・不完全燃焼などをおこすおそれがありますので、販売店・工事店に正しい処置をご依頼ください。

試運転

試運転は、販売店・工事店と立合いで行ってください。
運転手順、異常時の処置方法について販売店・工事店より説明を受けてください。

暖房運転

■運転準備

1. 油タンクに給油してください。
2. 定油面器のリセットレバーを下へ1回下げて、元の位置に戻ることを確認します。
3. 油タンクと給油アタッチメントの送油バルブを「開」にします。
4. 油タンクや送油管・ゴム製送油管から油もれがないか確認してください。
5. 電源プラグを専用コンセント(単相100V)に確実に差し込みます。

■運転開始と停止の手順

1. 運転切換スイッチが「暖房」になっていることを確認してください。
2. 運転スイッチを押して「入」にします。
   暖房ランプが点灯し、約7分後に温風が出ます。
3. 再度運転スイッチを押して「切」にします。
   暖房ランプが消灯し、しばらくして本体が冷えると温風が停止します。

冷房運転

■運転準備

1. 電源プラグを専用コンセント(単相100V)に確実に差し込みます。
2. 室外ユニット電源は単相200Vに接続します。(VGU-32BFタイプのみ)
3. ブレーカーを「入」にしてください。
4. 室外ユニットのストップバルブ(2方弁、3方弁)を必ず全開にしてください。
   試運転後も全開のままにしてご使用ください。

■運転開始と停止の手順

1. 運転切換スイッチを「冷房」に切換えます。
2. 運転スイッチを押して「入」にします。
   冷房ランプが点灯し、温風・冷風吹出口から冷風が出ます。
3. 再度運転スイッチを押して「切」にします。
   冷房ランプが消灯し、運転が停止します。

お知らせ

夏場の暖房運転の場合

- 室内温度が30℃以上ある場合に試運転するときには室温調節ボタン「上がる」を押し続けますと設定温度表示が「H」となり、最大燃焼量で連続運転を行います。
- 連続運転は自動的に約10分間で解除されますが、室温調節ボタン「下がる」を押しても解除できます。

冬場の冷房運転の場合

- 室内温度が20℃以下の場合に試運転するときには、室温調節ボタン「下がる」を5秒以上押し続けますと設定温度表示が「L」となり、30分間連続運転を行います。
- 連続運転は自動的に約30分間で解除されますが、室温調節ボタン「上がる」を押しても解除できます。

■初期運転時の現象

- 初期運転時や燃料切れの際、ボッボッと音をたてて燃焼することがありますが、故障ではありません。
- 温風・冷風吹出口から煙やにおいが出ることがありますが、燃焼器に付着した油やほこりが焼けるためで異常ではありません。
- 試運転は部屋の換気をしながら行ってください。

■正常運転の目安

- 正常運転の目安として、32～35ページのような現象がないことを確認ください。

保証とアフターサービス

修理・取扱い・お手入れなどのご相談は
まず、お買上げの販売店へお申し付けください。

転居や贈答品などでお困りの場合は右一覧表で
●修理のお問い合わせは　「修理相談窓口」へ
●その他のお問い合わせは　「一般相談窓口」へ

保証書(別添付)について

■保証書は、必ず「お買上げ日・販売店名」などの記入をお確かめのうえ、販売店からお受取りください。
■内容をよくお読みのあと、大切に保存してください。

保証期間…お買上げ日から1年間。
（ただし、燃焼器部分については3年間、冷媒回路については5年間です。）

補修用性能部品の最低保有期間は

■クリーンヒーターエアコンの補修用性能部品の最低保有期間は、製造打切り後9年間です。この期間は、通商産業省の指導によるものです。
■性能部品とは、その製品の機能を維持するために必要な部品です。

修理を依頼されるときは

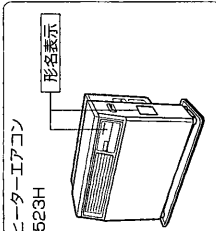
「故障かな？」と思ったら(32〜35ページ)にしたがってお調べください。なお、不具合があるときは、運転スイッチを切り、必ず電源プラグを抜いてから、お買上げの販売店にご連絡ください。

■保証期間中は
修理に際しては、保証書をご提示ください。
保証書の規定にしたがって販売店が修理させていただきます。

■保証期間がすぎているときは
修理すれば使用できる場合には、ご希望により修理させていただきます。
修理料金は、技術料＋部品代(出張料)などで構成されています。

■ご連絡いただきたい内容

1. 品　　名　三菱クリーンヒーターエアコン
2. 形　　名　VKC-423H・523H
3. お買上げ日　年 月 日
4. 故障状況と故障表示
（できるだけ具体的に）
5. ご住所
（付近の目印なども）
6. お名前・電話番号

形名表示

三菱電機お客さま相談窓口一覧表

北海道地区

修理相談窓口

旭川 (0166)26-5580 旭川市曙1条8-1
滝川 (0125)23-0117 滝川市本町1-7-4
北見 (0157)25-7045 北見市柏陽町577-60
釧路 (0154)24-1355 釧路市喜多町2-25
帯広 (0155)35-3111 帯広市西13条北4-1-13
室蘭 (0143)45-5781 室蘭市東町1-17-19
苫小牧 (0144)55-1114 苫小牧市明野新町2-1-18
札幌 (011)221-8951 札幌市中央区北2条東13-25
小樽 (0134)33-3380 小樽市緑2-28-22
函館 (0138)49-0345 函館市西桔梗町589-57

一般相談窓口

北海道本部 (011)893-1313 札幌市厚別区大谷地東2-1-11

東北地区

修理相談窓口

青森 (0177)73-8381 青森市大字野木字野尻37-184
弘前 (0172)32-6535 弘前市大字青山4-20-3
八戸 (0178)28-8544 八戸市大字長苗代字下亀子谷地6-8
むつ (0175)22-3277 むつ市横迎町2-11-7
盛岡 (019)637-7454 盛岡市羽場13地割30-11
水沢 (0197)25-4511 水沢市卸町2-3
釜石 (0193)23-4611 釜石市定内町3-10-1
仙台 (022)238-1773 仙台市若林区大和町2-18-23
気仙沼 (0226)23-8485 気仙沼市田中前2-9-2
石巻 (0225)95-9111 石巻市門脇字四番谷地16-268
古川 (0229)24-3595 古川市米袋字大濠25-1
秋田 (0188)65-4471 秋田市八橋三和町19-36
横手 (0182)32-1785 横手市安田字ブンナ沢80-110
大館 (0186)42-2781 大館市餅田2-5-44
山形 (0236)24-0018 山形市大の目2-1-21
酒田 (0234)22-8533 酒田市北新橋2-14-3
鶴岡 (0235)24-6161 鶴岡市上畑町5-4
米沢 (0238)37-5554 米沢市中田町4776-1
福島 (0245)34-7123 福島市御山字田中58
郡山 (0249)59-6543 郡山市喜久田町卸1-76-1
会津 (0242)27-4426 会津若松市天寧寺町3-7
原町 (0244)24-2842 原町市桜井町1-173
いわき (0246)26-1822 いわき市内郷御台境町鶴巻75-8

一般相談窓口

東北本部 (022)231-8282 仙台市宮城野区日の出町2-2-33

北関東・新潟地区

修理相談窓口

宇都宮 (028)662-0307 宇都宮市平出町3752-4
前橋 (027)265-0511 前橋市後閑町92-1
新潟 (025)274-9165 新潟市竹尾卸新町752-9
長岡 (0258)23-3323 長岡市南陽1-1118-1
上越 (0255)24-1160 上越市大字藤巻字上川原896-7
埼玉県全域 埼玉修理受付センター (048)651-3223 大宮市大成町4-298

一般相談窓口

首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

東関東地区

修理相談窓口

千葉県全域及び茨城県全域 東関東修理受付センター (0471)67-7731 柏市北柏3-14-1

一般相談窓口

首都圏本部 (03)3414-9655 東京都世田谷区池尻3-10-3

S97B

仕様

区分	項目		VKC-423H		VKC-523H	
形名	形式の呼び(室内ユニット)		VKC-423H		VKC-523H	
	室外ユニット形名		VGU-22EF		VGU-32BF	
電源	室内・室外ユニット		室内ユニット	室外ユニット	室内ユニット	室外ユニット
	電源電圧および周波数		単相 100V 50/60Hz	室内ユニットによる	単相 100V 50/60Hz	単相 200V 50/60Hz
	コンセント定格・形状		125V 15V Ⓘ形	室内ユニットによる	125V 15A Ⓘ形	250V 20A 端子台
	電流ヒューズまたはブレーカー容量		15A	室内ユニットによる	15A	20A
暖房関係	種類		気化式・強制対流形・強制給排気形			
	点火方式		高圧放電点火・自動点火			
	使用燃料		灯油（JIS 1号灯油）			
	暖房出力	最大	4.19kW（3600kcal/h）		5.23kW（4500kcal/h）	
		最小	3.19kW（2740kcal/h）		3.41kW（2930kcal/h）	
	熱効率	最大	93%		93%	
		最小	90%		90%	
	燃料消費量	最大/最小	0.468/0.366 ℓ/h		0.588/0.39 ℓ/h	
	暖房のめやす	温暖地	木造11畳（18m²）まで	コンクリート14.5畳(24m²)まで	木造13畳(21.5m²)まで	コンクリート18畳(30m²)まで
		寒冷地	木造11畳（18m²）まで	コンクリート18畳(29.5m²)まで	木造14畳(22.5m²)まで	コンクリート21畳(34.5m²)まで
	定格消費電力	最大消費電力(点火時)	580/580W		580/580W	
		燃焼時消費電力	ヒーターON時 580/580W	ヒーターOFF時 65/68W	ヒーターON時 580/580W	ヒーターOFF時 75/80W
	給排気筒呼び径		D34			
	給排気筒壁貫通部孔径		65〜75mm			
	排気温度		260℃			
	電流ヒューズ		10A		10A	
	温度ヒューズ		129℃		142℃	
外形寸法（置台を含む）			高さ743mm（最大749mm）、幅866mm、奥行326mm			
質量			44kg		44kg	
安全装置			対震自動消火装置・過熱防止装置・点火安全装置・燃焼制御装置・停電安全装置			
その他の装置			異常過熱防止装置・異常着火検知装置・排気筒はずれ検知装置			
冷房関係	冷房能力		2.2kW（2000kcal/h）／2.5kW（2240kcal/h）		3.2kW（2800kcal/h）／3.6kW（3150kcal/h）	
	冷房のめやす	鉄筋アパート南向洋室	16/18m²		22/25m²	
		木造南向和室	11/12m²		15/17m²	
	除湿量（専用除湿機能なし）		1.4/1.6 ℓ/h		2.0/2.2 ℓ/h	
	消費電力	室内ユニット	750/895W		150/180W	
		室外ユニット	室内ユニットによる		1350/1670W	
	運転電流	室内ユニット	8.3/9.0A		1.56/1.82A	
		室外ユニット	室内ユニットによる		7.5/8.7A	
	質量（室外ユニット本体）		27kg		34kg	
	冷媒配管壁貫通部孔径		75mm			

附属品

品名	数量	品名	数量
●床固定金具	2 個	●給排気筒トップ取付ネジ	皿ネジ3本
●壁固定金具	2 組	●給排気筒トップ	1 個
●壁固定金具取付ネジ（タッピン4×8）	2 本	●ドレンホース（冷房ドレン配管用）	1 本
●固定金具取付ネジ・黒（4×8）	8 本	●ドレスホース延長用ソケット	1 個
●固定金具取付ネジ	木ネジ6本	●配管用固定バンド	2 本
●取付びょう（畳用）	4 本	●パイプカバー（冷房配管断熱用）	1 本
●背面カバー（取付ネジ6本付き）	1 組	●置台	1 個
●傾斜フランジおよび配管用固定バンド取付ネジ	木ネジ小5本	●ゴム製送油管（締付金具2個付き）	1 組
●冷媒配管用スリーブφ75（冷媒・ドレン・電線用）	1 個	●コードバンド	2 本
●フランジナット（スリーブ用）	1 個	●C形ストッパー	2 個
●絶縁パイプ（給排気筒トップ用）	1 個	●室外傾斜フランジ（スリーブ用）	1 個
●室内外傾斜フランジ（給排気筒トップ）	2 個	●ホースバンド（給気ホース固定用）	1 個
●トップフード	1 個	●中間パイプ（給排気筒トップに付属）	1 個
●補助パイプ	1 個	●トップフード取付ネジ（中間パイプに付属）	1 本

●冷房時の、冷房可能面積の数値は、品質表示法に基づく表示によります。

形名	
お買上げ年月日	
お買上げ店名（住所）（電話番号）	

三菱電機株式会社
群馬製作所　〒370-0492　群馬県新田郡尾島町岩松800